

## 富山市民球場人工芝及び防護マット更新業務委託 仕様書

### 1 本業務に関する基本事項

#### (1) 本書の位置付け

本仕様書は、本市が本業務の実施に当たり、本業務を実施する受注者に要求する施設整備の水準を示し、プロポーザルに参加する者の提案に具体的な指針を与えるものである。

受注者は、業務が完了するまで、本仕様書に規定されている事項を遵守しなければならない。

#### (2) 施設の概要

①	施設の住所	富山市下飯野 30-1
②	グラウンド面積	メイングラウンド 約 14,200 m <sup>2</sup> 屋内練習場 約 880 m <sup>2</sup>
③	施設詳細	添付図面参照 ※前回更新の際の発注時に作成した図面であり、正確性を担保するものではなく、参考として公開するものである

#### (3) 業務概要

本業務は前回設置後 14 年が経過し、劣化が進んでいる人工芝及び内外野フェンスの防護マットを更新するものである。

本業務に係る基本調査、設計、材料の調達、設置及び既存人工芝等の撤去・処分業務をすべて含み、保守業務の一部またはすべてを含むものとする。

#### (4) 適用基準等

本業務を実施するに当たっては、各種関連法令を遵守すること。また、各種基準・指針等についても本業務の要求水準に照らし準拠すること。ただし、同等の水準・機能を有すると本市が認めたものは、この限りではない。

#### (5) 要求水準の変更

##### ① 要求水準の変更理由

本市は、業務期間中に、下記の事由により、要求水準を変更する場合がある。

(ア) 法令等の変更により業務内容が著しく変更されるとき。

(イ) 災害・事故等により、特別な業務内容が常時必要なとき又は業務内容が著しく変更されるとき。

(ウ) 本市の事由により業務内容の変更が必要なとき。

(エ) その他業務内容の変更が特に必要と認められるとき。

##### ② 要求水準の変更手続

本市は、要求水準を変更する場合、事前に受注者に通知する。要求水準の変更に伴い、受注者に支払う対価を含め契約書の変更が必要となる場合、必要な変更を行うものとする。

### 2 本業務に関する基本要件

#### (1) 業務実施体制

- ① 本業務の特性や専門性に対応した業務実施体制を構築すること。
  - ② 市内企業の活用に十分配慮すること。
- (2) 適切な工程・計画
- ① 設計・施工一括方式のメリットを生かした工期短縮に努め、完了日である令和7年3月31日に遅れが生じないようにすること。
  - ② 本施設は当該委託期間中も使用されるため、施設の運営に影響を与えないよう工程を調整すること。
- (3) 円滑な競技運営に対する配慮
- ① 本施設は、プロ野球、日本海オセアンリーグ、社会人リーグと多様な用途が見込まれるため、円滑な競技運営を支える整備に努めること。
  - ② 従来から開催されてきた各種イベント等の運営に支障をきたさないよう配慮すること。
- (4) コスト削減に対する創意工夫
- 本要求水準を遵守しつつ、コスト削減のため創意工夫すること。
- (5) 保守管理に対する配慮
- ① 日常的な利用はもちろん、経年劣化による修繕等の対応など、保守管理体制・費用に対するきめ細かな配慮をすること。
  - ② 本市の気候風土、特に積雪などを考慮して耐久性、メンテナンス性に対して十分配慮すること。
- (6) 環境に対する配慮
- ① 環境負荷の低減に十分に配慮した計画とすること。

### 3 要求水準

#### (1) 人工芝及びアンツーカーに関する事項

- ① 本業務の対象は、メイングラウンド、屋内競技場、ブルペン部とし、既設人工芝の撤去・処分、新しい人工芝の敷設、アンツーカー舗装の更新を行うものである。
- ② 現在設置されている人工芝の仕様（下記参照）と比較し、同等以上の性能をもつ製品とすること。また、耐久性等、性能が同等以上であることの説明を行うこと。

パイル材質	超耐久ポリエチレン
パイル形状・幅	モノフィラメント、幅約 1.5 cm
パイル長さ	約 60 mm
パイル厚さ	約 310/130 $\mu$
パイル繊度	12,000/6Dtex（1本あたり 2,000Dtex）
充填剤	砂…特殊調整珪砂 弾性材…ゴムチップ 充填圧…約 40 cm（完成時）

- ③ メイングラウンドと屋内練習場の製品は異なる製品とすることも可とするが、メイングラウンドについては、NPB プロ野球 12 球団の本拠地球場のいずれかのメイングラウンドに公募開始時点において設置（施工中の場合も含む）されている人工芝と同一の製品、または現在、本施設に設置されている人工芝の後継品（3（1）②の条件を満たすもの）とすること。また、屋内練習場については防災認定品とすること。
- ④ 既設人工芝の撤去後、排水性回復のため、必要に応じて下地舗装の洗浄等を行うこと。洗

浄等が必要ないと判断した場合は、市に説明の上承認を得ること。

- ⑤ 温度抑制、プレーヤーの負担軽減等、プレー環境の向上に資するものとする。
- ⑥ 充填剤については、可能な限り流出や飛散の抑制や、温度抑制を図ることが可能なものとする。
- ⑦ ジョイントは、ミシン縫合またはシート接着工法とすること。
- ⑧ メンテナンス・経年劣化による部分補修等において応急対応が可能であり、最低8年間は修繕等が可能で、継続して人工芝の維持が可能な製品とすること。なお、10年間のメンテナンスに必要な概算費用を作成（様式任意）し、見積書と合わせて提出すること。
- ⑨ 通常の使用下において生じた製品の不具合は、最低5年間は無償で対応すること。
- ⑩ 必要に応じてホームベースやマウンド等のかさ上げを行うこと。
- ⑪ カラーについては現状と同様とするが、内野フェンス前等、フェンス前の全周について外野フェンス前の箇所と同幅で同じカラーとすること。
- ⑫ ラインは縫込み式とすること。ホームベース後方には“TOYAMA”の文字（文字の書体や大きさは現状と同様とする。）をつけること。
- ⑬ 必要がある場合は、埋設配管等の改修、増設等を行うこと。
- ⑭ 既設の人工芝は、撤去後、各種法令に従って適切に処分すること。なお、市が再利用を行う場合は可能な限り協力すること。
- ⑮ アンツーカーは、透水性や保水性、防塵効果に優れたものとする。
- ⑯ 業務スケジュールに支障がないよう、必要な各種許認可、届出等の手続を実施すること。また、市が必要とする場合は、各種許認可等の写しを提出すること。
- ⑰ ①～⑯について、機能上及び安全上問題がない場合は、コスト削減及び環境負荷低減に資する提案も可とする。

## （2）防護マットに関する事項

- ① 本業務の対象は、メイングラウンドとし、内外野全周の防護フェンスについて、表面シートの更新を行うものである。
- ② 現在設置されている表面シートの仕様（株式会社クラレ製 品名：クラフテル 品番：E5ターポセット ダークグリーン ウレタン t=10mm+シート t=0.5mm）と比較し、同等以上の性能をもつ製品とすること。
- ③ カラーについては現状と同様とする。
- ④ 既設の表面シートは、撤去後、各種法令に従って適切に処分すること。
- ⑤ 業務スケジュールに支障がないよう、必要な各種許認可、届出等の手続を実施すること。また、市が必要とする場合は、各種許認可等の写しを提出すること。
- ⑥ 広告等の貼付等を容易に行えるものとする。
- ⑦ ①～⑥について、機能上及び安全上問題がない場合は、コスト削減及び環境負荷低減に資する提案も可とする。

## 4 実施設計業務に関する事項

### （1）業務範囲

受注者は、本仕様書、業務提案等に基づき、本施設を整備するため必要な設計を行うこと。

### （2）業務期間

設計業務の期間は、契約締結日を始期として、業務全体のスケジュールに整合させ受注者が計画すること。

(3) 留意事項

設計は、以下の点に留意して行うこと。

- ① 本市と十分に協議すること。
- ② 実施設計期間中に、本市へ中間報告を行ったのち最終案を作成すること。

(4) 提出書類

① 設計図書

(ア) 共通

設計書、仕様書、図面リスト、配置図、仮設計画図

(イ) 建築設計図書

平面図、立面図、断面図、矩形図、その他必要な図面等

② その他本市が求める資料

5 施工管理業務に関する事項

(1) 業務範囲

受注者は、本仕様書、契約書、設計図書、提案書等に基づき本施設の人工芝及び防護マットの更新業務を行う。

(2) 業務期間

施工業務の期間は、業務全体のスケジュールに整合させ受注者が計画すること。

なお、現在、本市が想定している業務スケジュールは、以下のとおりである。

施工業務 令和6年10月から令和7年3月31日まで

(3) 着工前の業務

① 各種申請業務

受注者は、本施設の施工業務に必要となる各種許認可、届出等の手続きを、業務スケジュールに支障がないように実施すること。本市が必要とする場合は、各種許認可等の写しを本市に提出すること。

② 近隣調査および準備調査等

(ア) 着工に先立ち、業務に関して本市が必要に応じて説明会等を行う場合は、これに同席すること。

(イ) 本業務が周辺地域の生活環境に与える騒音、振動等の諸影響についてあらかじめ検討し、必要に応じて合理的に要求される範囲の対策を施すこと。

(ウ) 業務に関する近隣からの苦情等については、受注者の責任において適切に対応し、処理を行うこと。

③ 着工時の提出書類

受注者は、業務の着手の前に、工事全体工程表等を作成し、本市に提出して承認を得ること。

(4) 施工期間中の業務

① 受注者は、各種関連法令および工事の安全等に関する指針等を遵守し、設計図書および提案書に従って本施設の工事を実施する。

② 受注者は、工事現場に工事記録を常に整備する。

③ 受注者は、設計および工事の進捗状況等を本市に定期的に報告するほか、本市から要請が

あれば、別途、報告を行うこと。

- ④ 本市は、受注者が行う工程会議に立会うことができるとともに、いつでも工事現場の施工状況の確認を行うことができるものとし、受注者はこれに協力するものとする。
  - ⑤ 業務を円滑に推進できるように、必要な工事状況の説明および調整を十分に行うこと。
  - ⑥ 騒音、振動等の諸影響 について、十分な対策を施すこと。万が一苦情が発生した場合は、苦情処理等受注者の責任において適切に対応し、処理すること。
  - ⑦ 工事により発生した廃棄物等については、法令等に定められたとおり適切に処理、処分すること。
  - ⑧ 工事現場内の事故災害の発生に十分留意するとともに、周辺地域へ災害が及ばないよう万全の対策を施すこと
- (5) 竣工後の業務
- ① 受注者による竣工検査
    - (ア) 受注者は、自らの責任において、竣工検査を実施すること。
    - (イ) 受注者は、本市に対して竣工検査の結果を報告する。
  - ② 本市の工事完了確認
    - 本市は、受注者による竣工検査及び前項の検査終了後、次の方法により行われる工事完了確認を実施すること。
      - (ア) 本市は、受注者の立会いの下で、工事完了確認を実施する。
      - (イ) 受注者は、人工芝等の取扱いに関する本市及び施設管理者への説明を、前号の完了確認とは別に実施する。
  - ③ 竣工図書の提出
    - 受注者は、本市による工事完了確認に必要な工事写真、工事に関係する書類を本市に提出すること。提出する書類については、本市と協議のうえ、決定することとする。
- (6) 保険
- 受注者は、自らの負担により、必要と考えられる保険に加入するものとする。

## 6 その他

- (1) 工事期間中は、定例打合せを実施すること。
- (2) 必要に応じて、関係諸機関と十分に協議すること。
- (3) 保守管理は、原則として富山市内の営業所(連結対象会社含む)又は出張所が実施すること。市外の場合は、迅速な対応ができる体制を構築し、本市に了承を得ること。
- (4) 現場作業に従事する期間は、監理技術者として「土木工事」又は「舗装」に係る監理技術者資格を有する技術者を工事現場に専任して配置すること。
- (5) 本業務の協力企業(受託者から業務を請け負う企業)を選定する場合は、地域経済の活性化を図るため、原則として富山市内に本店を有する企業とすること。専門職種などの理由で市外企業を選定する場合は、選定した理由を記した文章を提出し、承認を得ること。
- (6) 本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、本市および受注者の協議によるものとする。

以 上

(添付) 図面  
※前回更新の際の発注時に作成した図面であり、正確性を担保するものではなく、参考として公開するもの

# 富山市民球場人工芝張替及び衝撃緩衝材取替工事

## 図面リスト

図番	図面名称
01	表紙、図面リスト
02	特記仕様書
03	現況平面図、改修平面図
04	路面区分図、路面断面図
05	求積図
06	附帯施設詳細図
07	囲障平面図、詳細図
08	屋内練習場・ブルペン詳細図

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	表紙、図面リスト	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 01

グラウンド特記仕様書-1

I. 工事概要

工事名称	富山市民球場人工芝張替及び衝撃緩衝材取替工事
工事場所	富山山下飯野地内
施工面積	グラウンド：約13,720m <sup>2</sup> 屋内練習場：約950m <sup>2</sup> 、ブルペン：約130m <sup>2</sup> ×2ヶ所
施工範囲	路面・団障・附帯施設

II. 一般共通事項

1. 適用基準等	工事写真の撮り方(改訂第2版)建築編(建設大臣官庁営繕部監修)
2. 工事実績情報の登録	「工事カルテ受領書」の写しを提出
3. 発生材の処理等	運搬、処分委託契約書の写しの提出 マニフェスト(A票、B2票、D票、E票)の写しの提出
4. 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売保守等の営業体制が整えられていること。  なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出し承諾を受けるものとする。 ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用するものとし、同等以上を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
5. 工事写真	工事の進捗状況を工事写真として施主に提出する。
6. 施工図の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
7. 解体・撤去工事等	建設リサイクル法対象工事
8. 下請関係の適正化	本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。
9. 個人情報の取扱い	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-48個人情報取扱特記事項による。
10. 高度技術 創意工夫 社会性の実現	請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県請負工事成績評」第7項に定める様式により提出することができる。

III. 仮設工事

1. 足場その他	枠組足場を設ける場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省、平成15年4月)により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善処置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。
2. 監督職員事務所	設ける
3. 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる(※有償・無償) -利用できない-
4. 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる(※有償・無償) -利用できない-

IV. 工事内容

1. 路面工	内・外野：既存人工芝撤去 マウンド、各塁ベース：アンツーカー入替 屋内練習場：ロングパイル人工芝(マウンドはアンツーカー入替) ブルペン：ロングパイル人工芝(マウンドはアンツーカー入替) 既存人工芝撤去後、処分
2. 排水施設工	グラウンド内：排水施設清掃
3. 団障工	衝撃緩衝材張替、各防護マット(フェンス・門扉部)取替
4. 附帯施設工	ベースプレート類・ポイントマーク

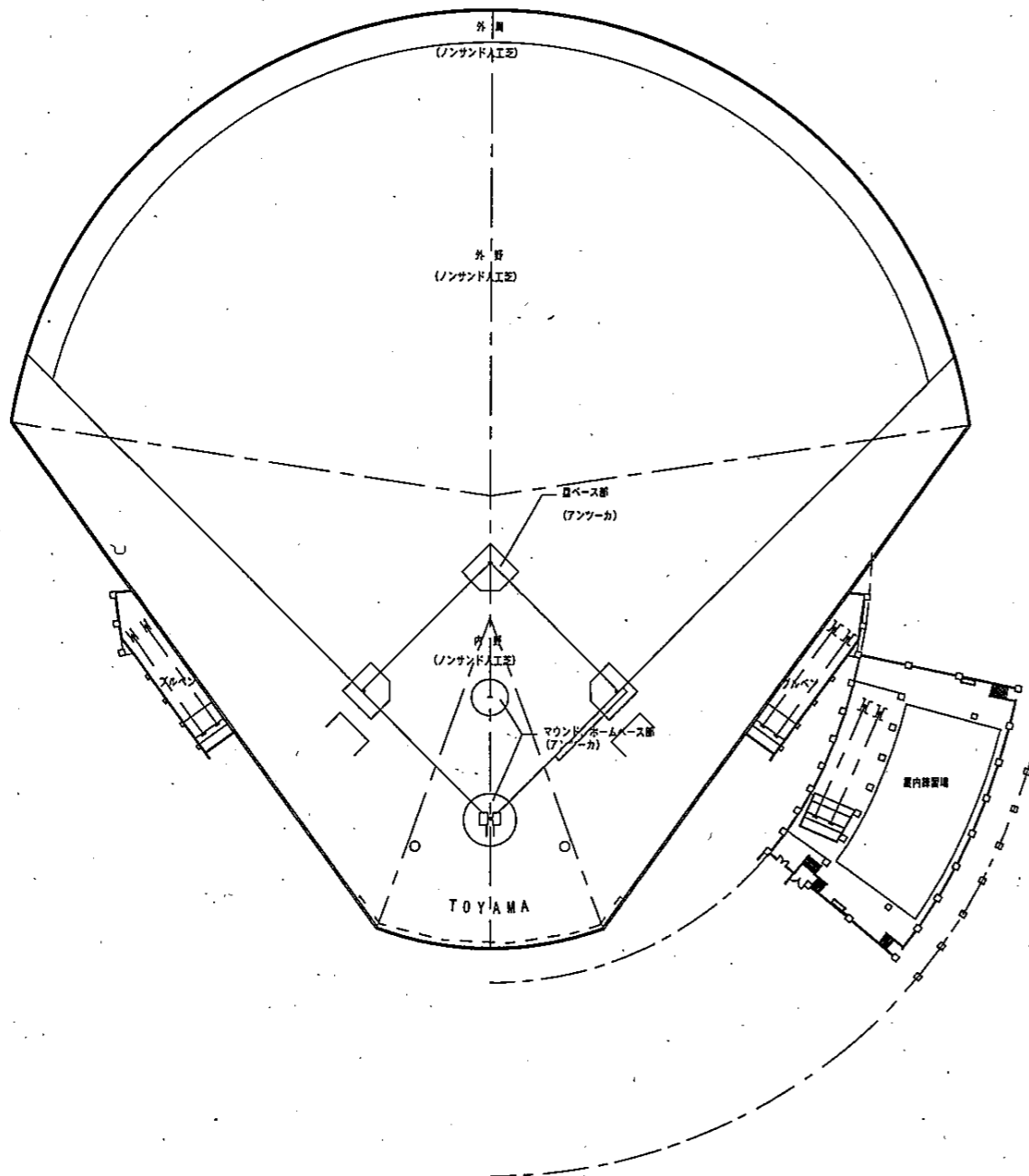
V. グラウンド舗装工事

共通事項	グラウンド舗装工事は、安全且つ高度な平坦性、及び適度の弾力性等が要求される。(プロ野球フランチャイズ球場でロングパイルの施工実績があるメーカーの製品)
A. 材料	
1. 内・外野 (1)人工芝 参考程度	表層材：ロングパイル人工芝 パイル長：60mm程度 パイル形状：モノフィラメントヤーン・直毛(パイル幅1.5mm以上) バックング材：環境に配慮したもの パイルカラー：グリーン系及びブラウン系 ※人工芝の張替え時の再資源化にあたり循環型社会に貢献するため、バックング材はサーマルリサイクル化に課題の残らないものとする。
(2)ライン芝	パイル長：人工芝と同程度 パイル材質：人工芝と同質 パイルカラー：ホワイト系
(3)充填物	粒度調整特殊珪砂/細粒ゴムチップ(リサイクル品)等 t=40mm程度充填 充填材に使用するリサイクルゴムチップは加工者だけでなく、原料となるゴムの製造者が明確なもので、有害物質が使用されていない安全性の保証されたものを用いること。(証明書提出)
(4)接着剤	合成樹脂系接着剤 ※製品安全データシート(MSDS)提出
(5)ジョイント	ポリエステルテープ
2. マウンド 各塁ベース周り	表層材：アンツーカー(現況表層材同等品)とし、不純物の含まない良質のものを使用する。 スポーツ用バインダー：表面の締め固め及び水分の長期保有のため、ケミカルバインダーを散布する。
3. 屋内練習場 ブルペン	表層材：ロングパイル人工芝及びマウンドのアンツーカーは、グラウンド仕様準じる。 スポーツ用バインダー：グラウンド(マウンド、各塁ベース廻り)と同様。 ※屋内練習場に使用するものは「防災認定品」とすること。
C. 人工芝の色区分 について	内・外野における人工芝の色区分については、監督員に施工図および色見本等を提出し、協議のうえ決定する。
参考品名	製造所(製品名) ㈱住友ゴム産業(ハイブリッドターフET-62) 奥アンツーカー㈱(フィールドターフ) ㈱アストロ(アストロピッチSL N60)

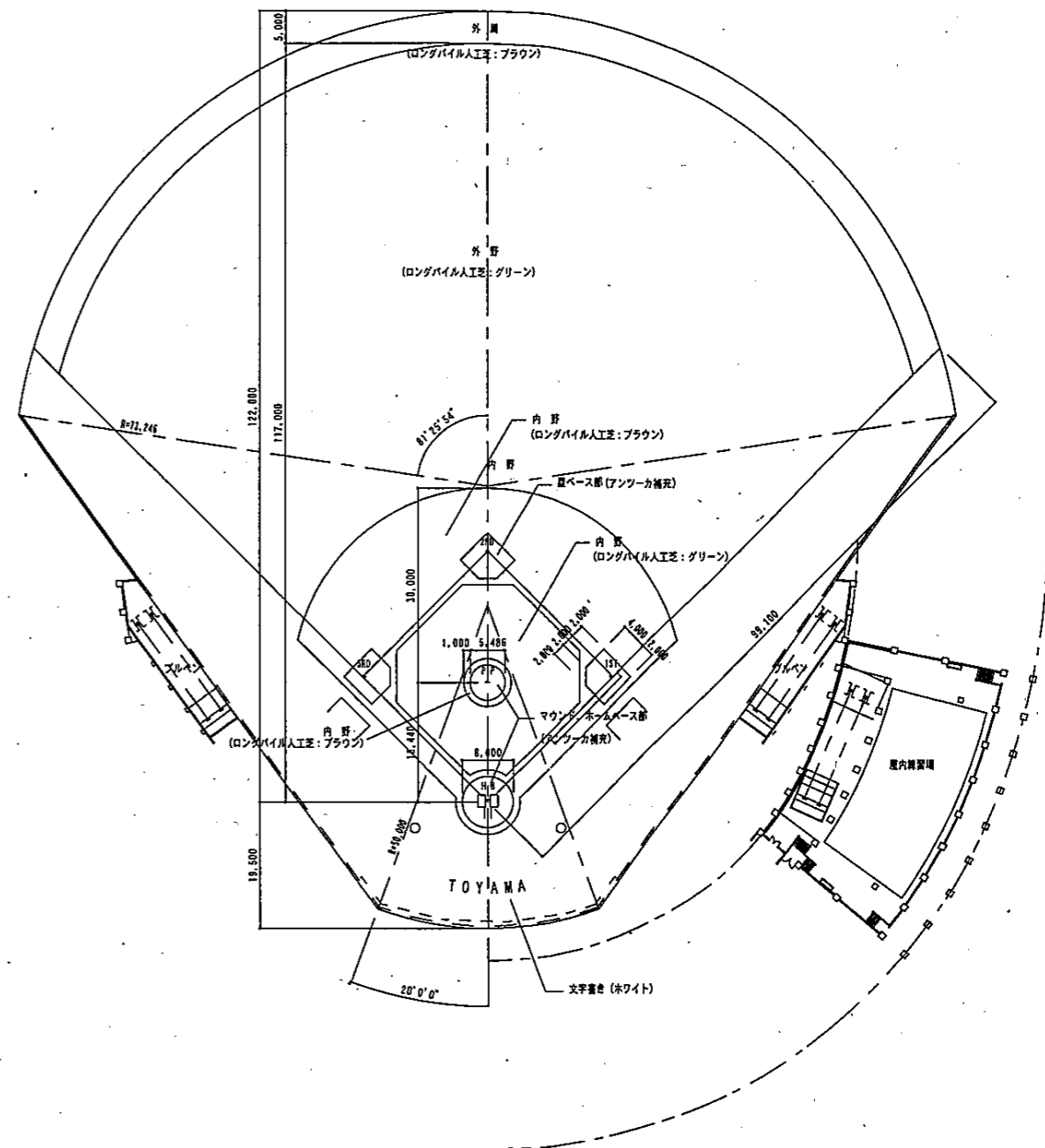
VI. 衝撃緩衝材取替工事

共通事項	・厚さ140mm程度。 ・多重構造であること。 ・プロ野球フランチャイズ球場での施工実績があるメーカーの製品。
A. 材料 (1)構成材料 参考程度	緩衝材：衝撃吸収フェンス(ソフトタイプ) 1) 表皮：ポリエステル基布入塩ビ(t=1mm程度) 2) 緩衝層(第1クッション層)：軟質ウレタンフォーム(t=10mm程度) 3) 緩衝層(第2クッション層)：液型ウレタンフォーム(t=110mm程度) 4) 緩衝層(第3クッション層)：ポリエチレン系発泡体(t=10mm程度) 5) 基板+防水対策(5mm程度) 6) その他：接着剤、端部金物、取付ビス、ポリプロピレン多孔質板等 ※接着剤は製品安全データシート(MSDS)提出
参考品名	製造所(製品名) 太陽工業㈱(ソフトラバーフェンス) ㈱三英(セーフティパッド)

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	特記仕様書	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 02



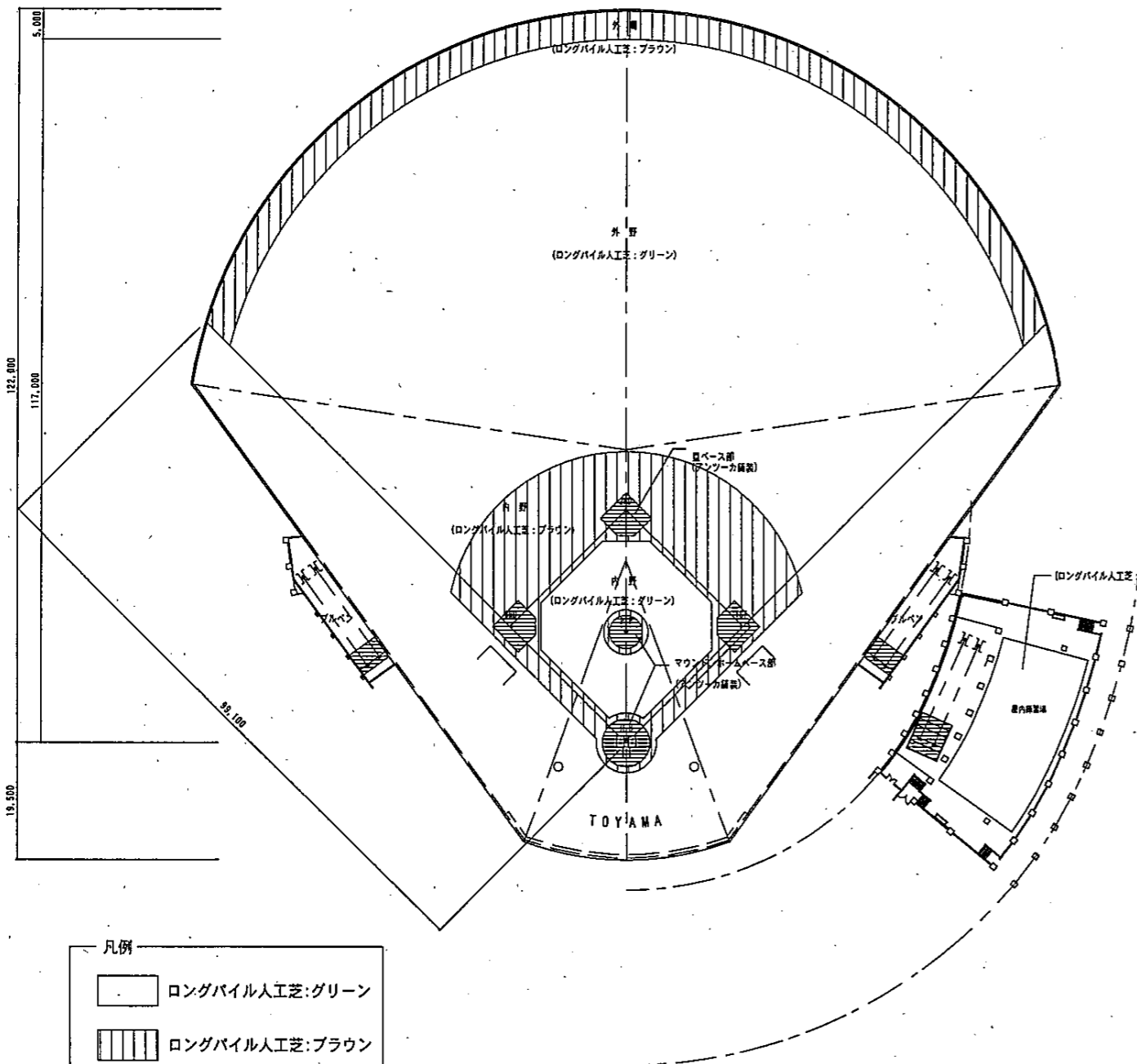
現況平面図 S=1/500



改修平面図 S=1/500

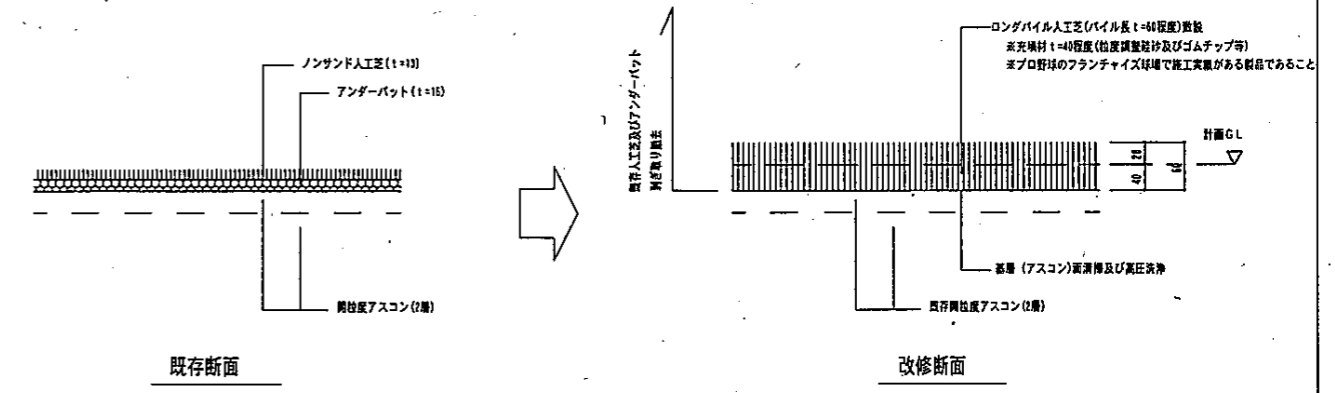
工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	現況平面図、改修平面図	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 03



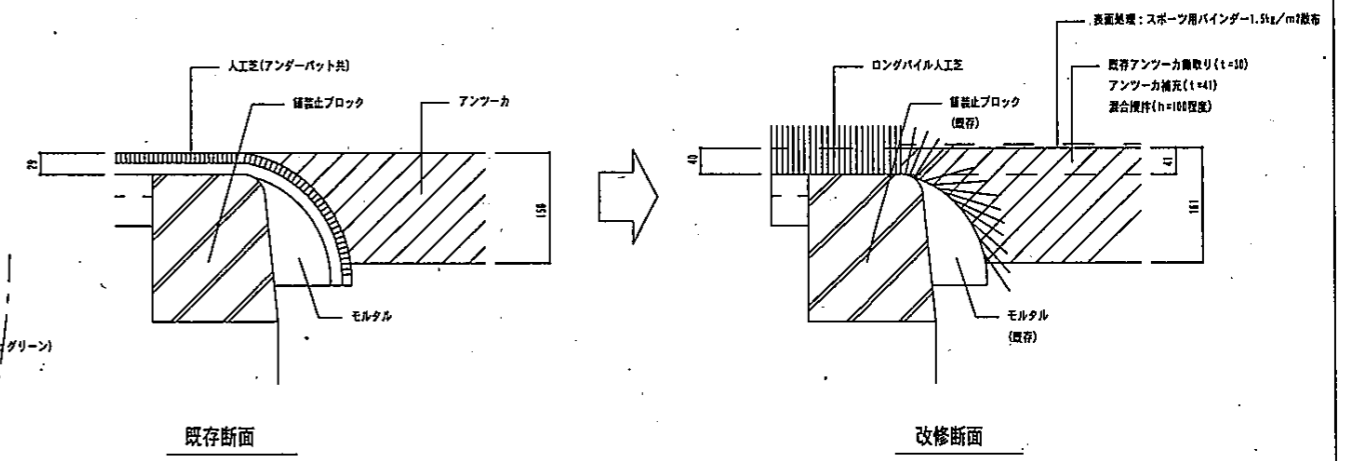


- 凡例
- ロングバイル人工芝: グリーン
  - ロングバイル人工芝: ブラウン
  - アンツーカー舗装

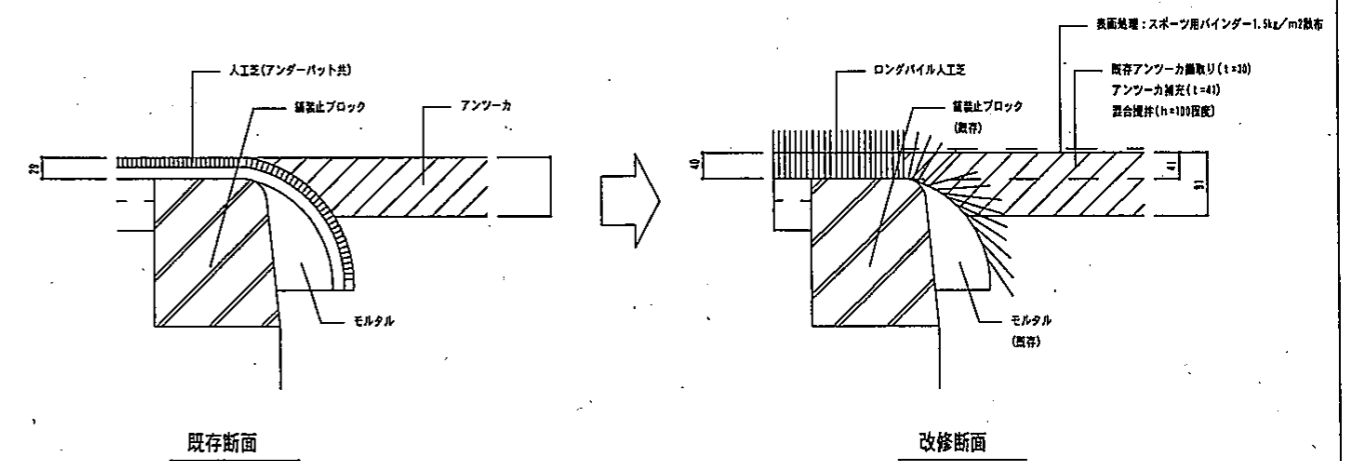
路面区分図 S=1/500



グラウンド路面断面図 S=1/5

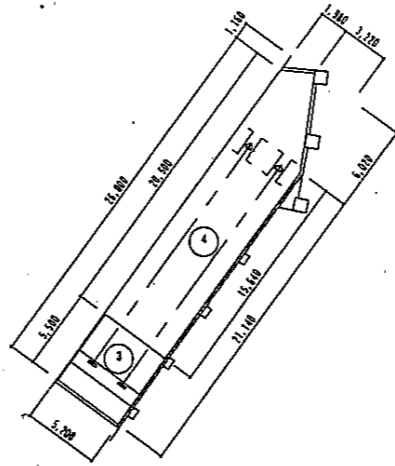
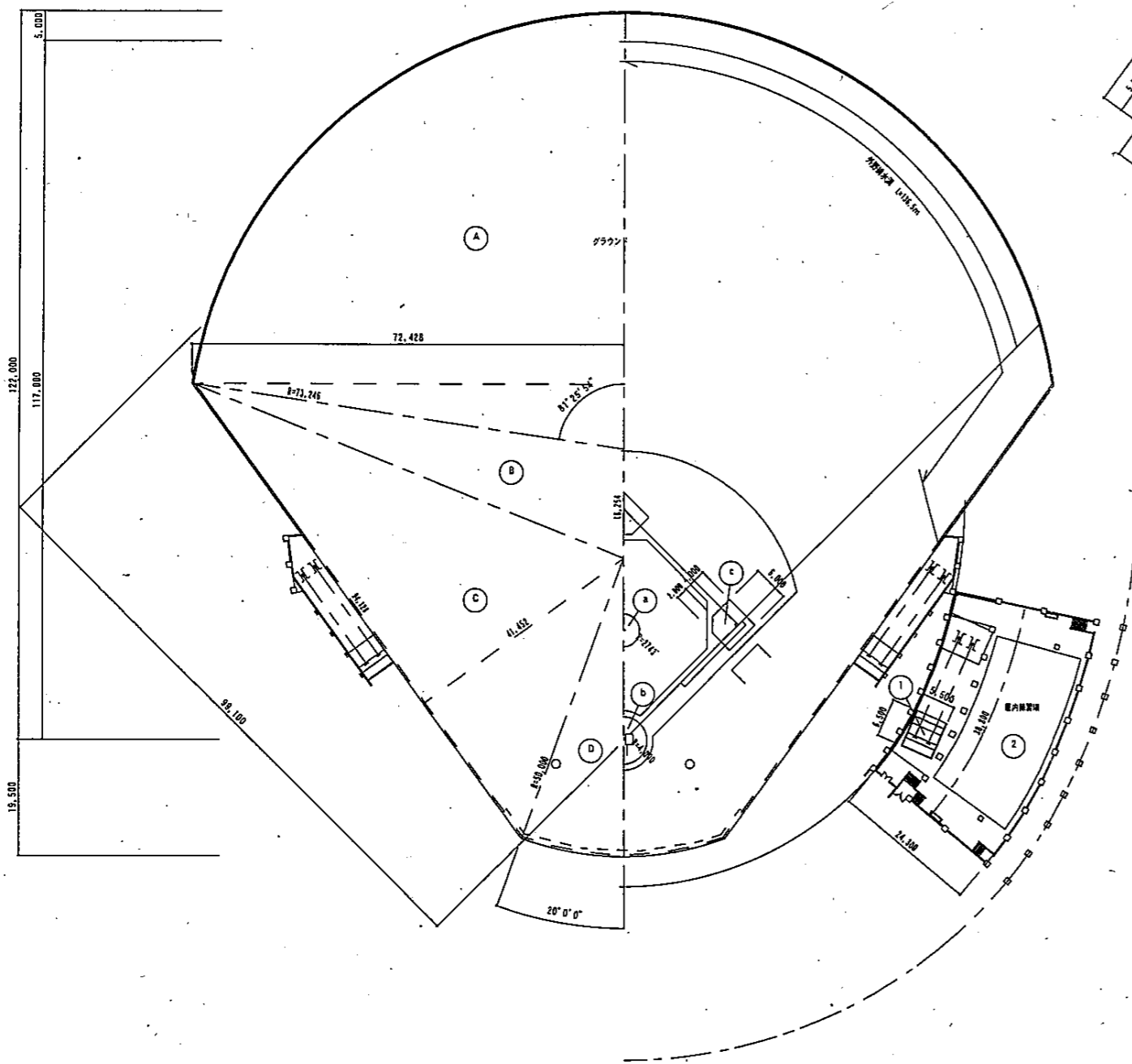


マウンド部路面断面図 S=1/5



各塁ベース部路面断面図 S=1/5

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	路面区分図、路面断面図	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 04



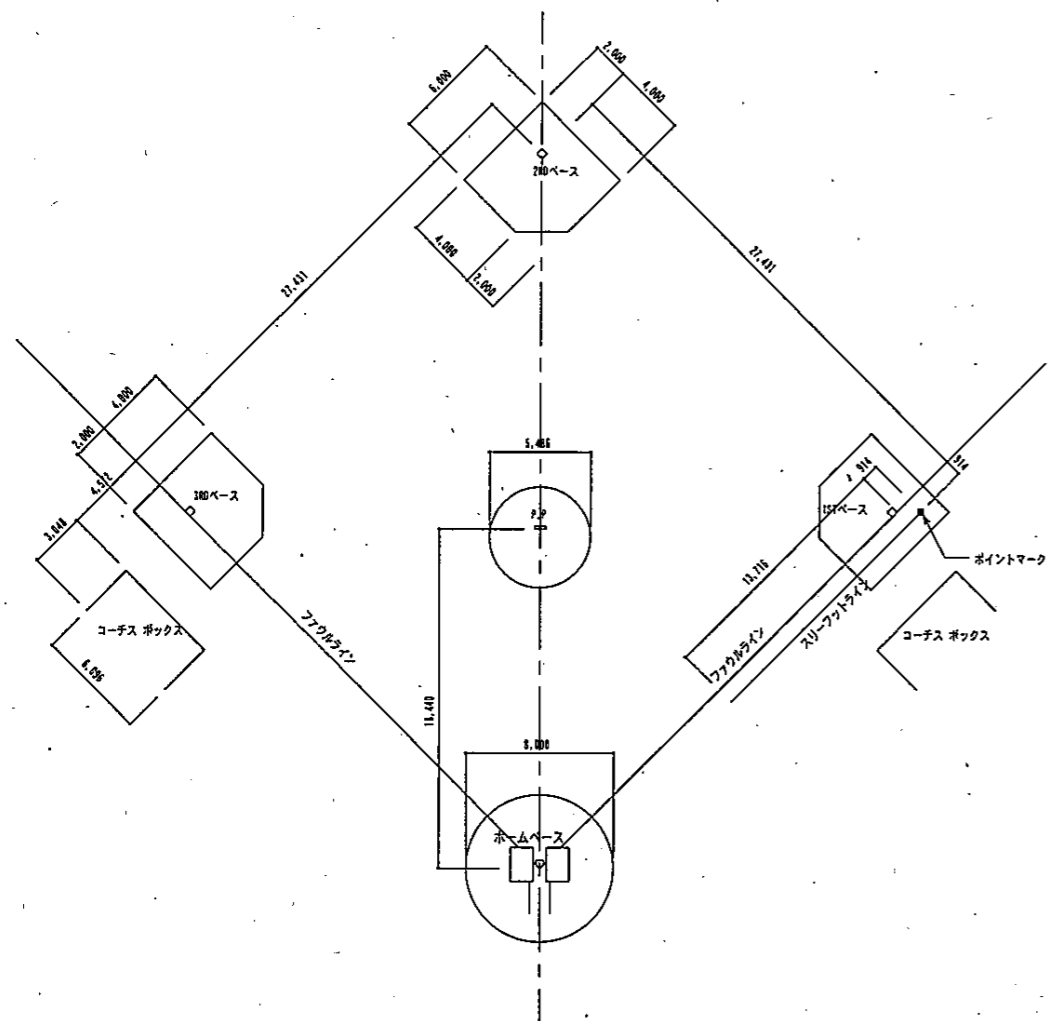
ブルバン求積図 S=1/250

求積図 S=1/500

面積表

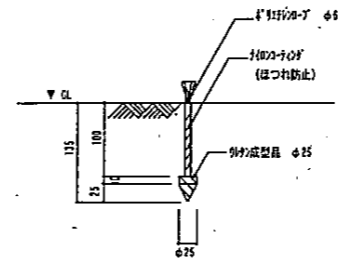
記号	計算式	面積
<b>1. グラウンド部</b>		
全体		
Ⓐ	$\pi \times 73,246^2 \times 81'25'54'' / 360^\circ$	3,812.5 m <sup>2</sup>
Ⓑ	$18,254 \times 72,428 \times 1/2$	661.0 m <sup>2</sup>
Ⓒ	$94,128 \times 41,452 \times 1/2$	1,950.9 m <sup>2</sup>
Ⓓ	$\pi \times 50,000^2 \times 20'00'00'' / 360^\circ$	436.3 m <sup>2</sup>
計		6,860.7 m <sup>2</sup>
合計	$6,860.7 \times 2$	13,721.4 m <sup>2</sup>
アンツーカー舗装		
マウンド部 ①	$\pi \times 2,743^2$	23.6 m <sup>2</sup>
ホームベース部 ②	$\pi \times 4,000^2$	50.3 m <sup>2</sup>
塁ベース部 ③	$(6,000 \times 6,000 - 2,000 \times 2,000 \times 1/2) \times 3$	102.0 m <sup>2</sup>
合計		175.9 m <sup>2</sup>
外野排水溝	$136.5m \times 2 \times 0.33$	90.1 m <sup>2</sup>
人工芝舗装	$13,721.4 - (175.9 + 90.1)$	13,455.4 m <sup>2</sup>
<b>2. 屋内練習場</b>		
アンツーカー舗装 ①	$6,500 \times 5,500$	35.8 m <sup>2</sup>
人工芝舗装 ②	$38,800 \times 24,300$	942.8 m <sup>2</sup>
(控除)	(アンツーカー舗装) $6,500 \times 5,500$	-35.8 m <sup>2</sup>
	(階段等) $1,900 \times 3,300 + 1,900 \times 3,900 + 2,600 \times 3,400$	
	$+ 1,800 \times 2,400$	-26.8 m <sup>2</sup>
	(手洗い) $2,300 \times 0.800 \times 2$	-3.7 m <sup>2</sup>
	(柱) $0,900 \times 0,900 \times 7 + 0,750 \times 0,750 \times 2 + 0,9 \times 0,35 \times 10$	-9.9 m <sup>2</sup>
	(側溝、樹) $39,800 \times 0.22$	-8.8 m <sup>2</sup>
合計		857.8 m <sup>2</sup>
<b>3. ブルバン (2ヶ所)</b>		
アンツーカー舗装 ③	$5,500 \times 5,200 \times 2$	57.2 m <sup>2</sup>
人工芝舗装 ④	$\{(20,500 + 21,650) \times 1,980 \times 1/2 + (15,640 + 21,650) \times 3,220 \times 1/2\} \times 2$	203.6 m <sup>2</sup>

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	求積図	縮尺	H 21 年 10 月
富山市建設部営繕課			No. 05

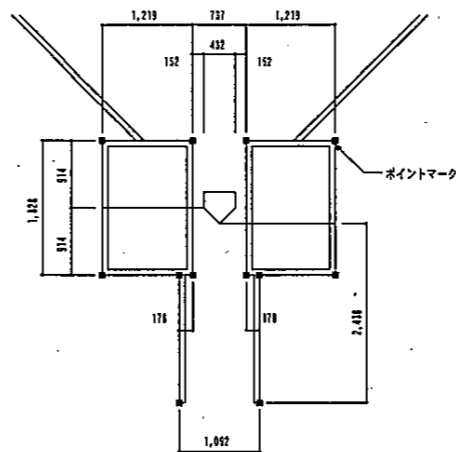


野球場 (一般) 寸法図 S=1/200

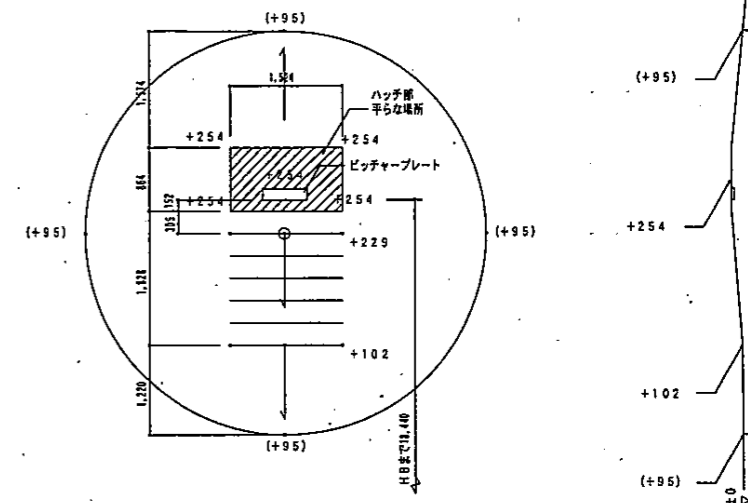
※ピッチャープレート、ホームベース、塁ベースは、既存撤去・再利用による。  
 ※ポイントマークは、アンツェカ属装内に設置。(計13ヶ所)



ポイントマーク詳細図 1:5



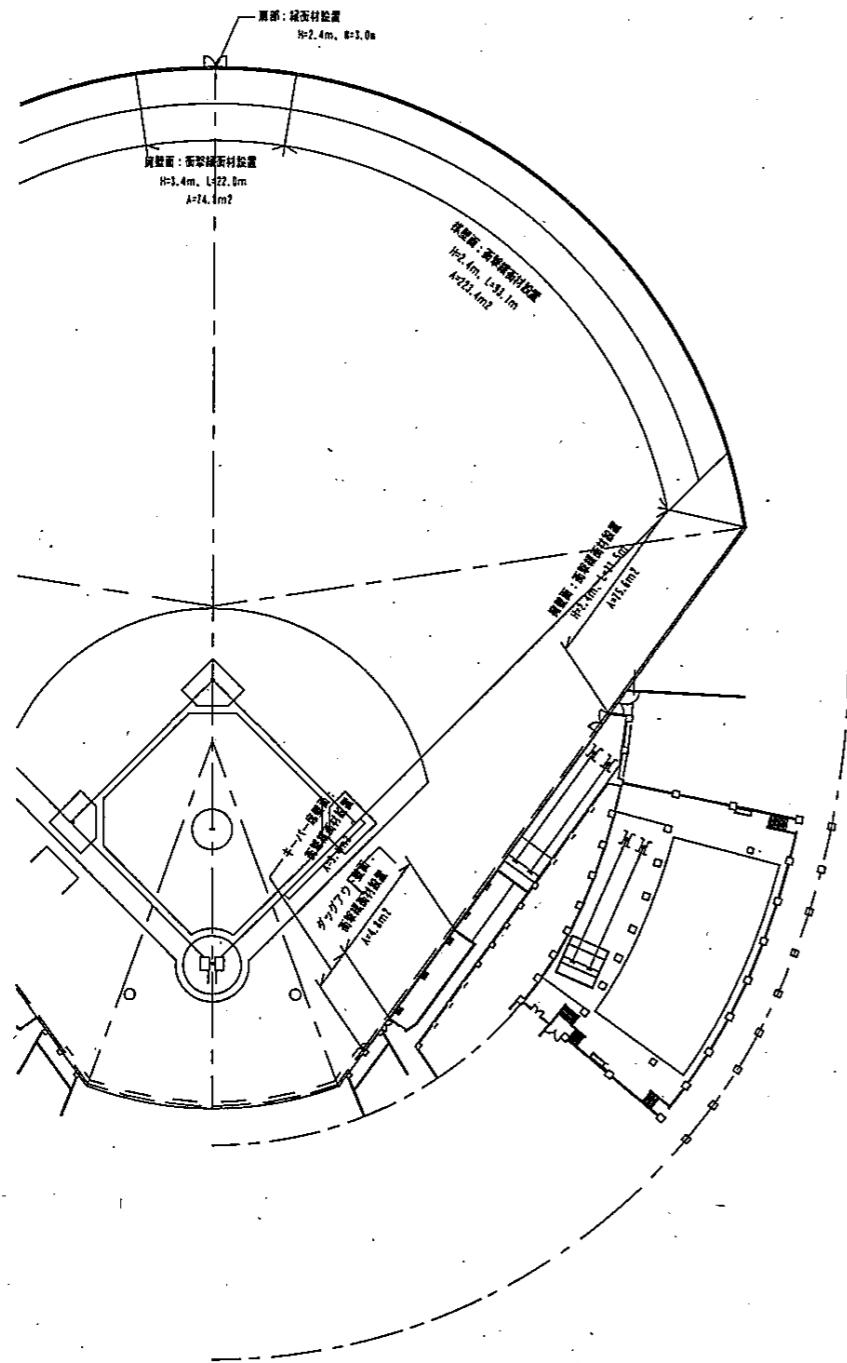
バッターボックス部詳細図 S=1/50



ピッチャーマウンド 仕上高低図 S=1/50

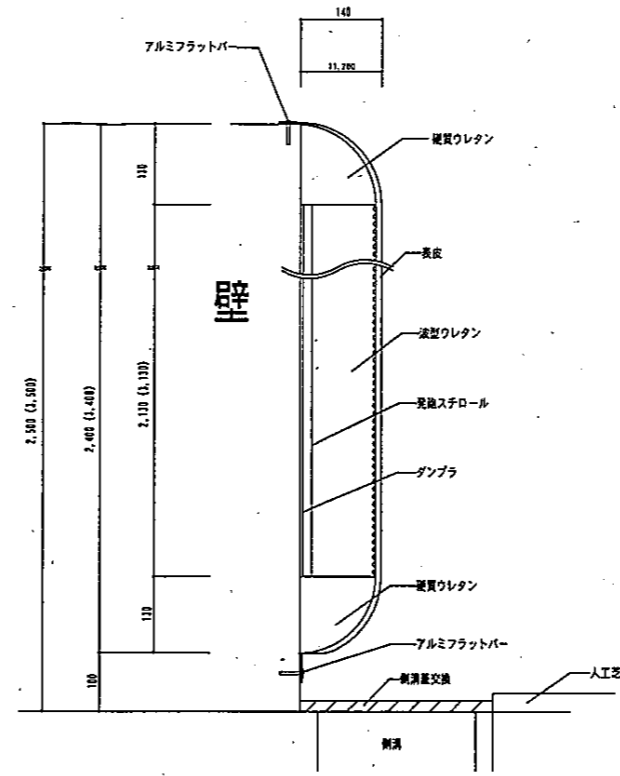
※図中数値はホームベースを±0とした場合の仕上高 (単位mm) を示す。

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	附帯施設詳細図	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 06

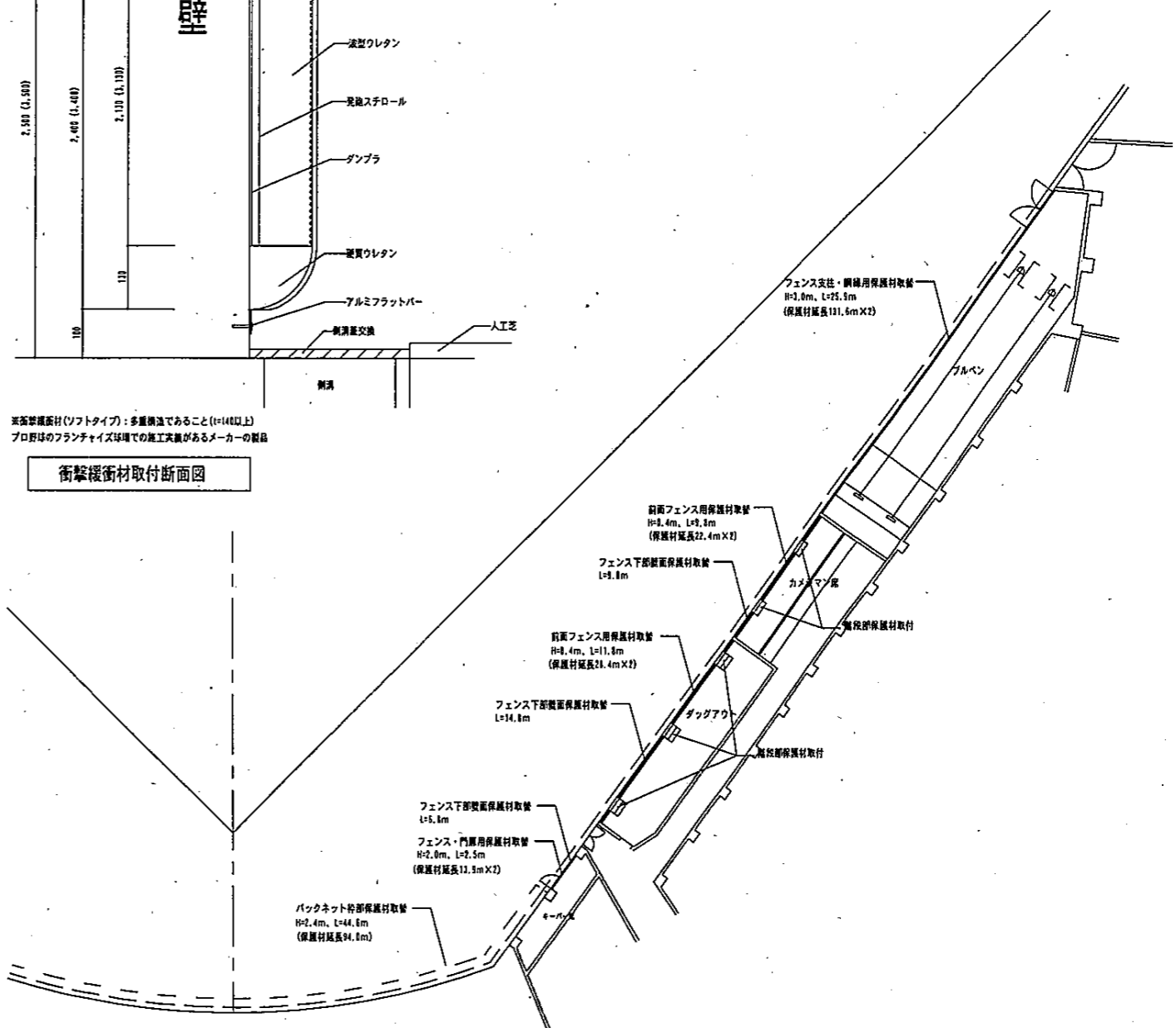


図障平面図 S=1/500

※衝撃緩衝材設置面積  
 外野側: A= (221.4175.0) × 2174.0 = 482.8m<sup>2</sup>  
 内野側: A= (3.414.0) × 2 = 28.4m<sup>2</sup>  
 計: A= 511.2m<sup>2</sup>

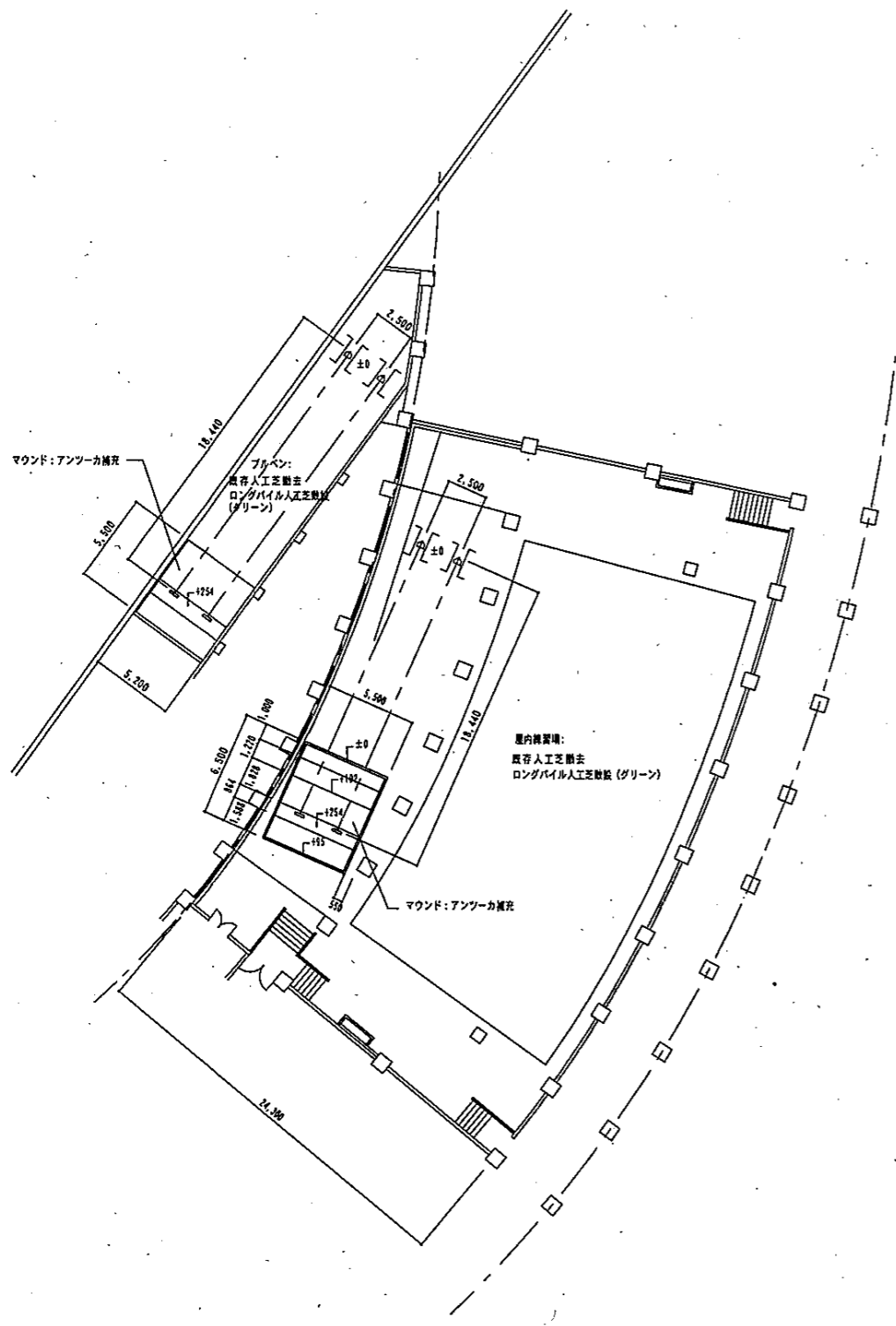


※衝撃緩衝材(ソフトタイプ): 多重構造であること(t=14以上)  
 プロ野球のフランチャイズ球場での施工実績があるメーカーの製品  
 衝撃緩衝材取付断面図

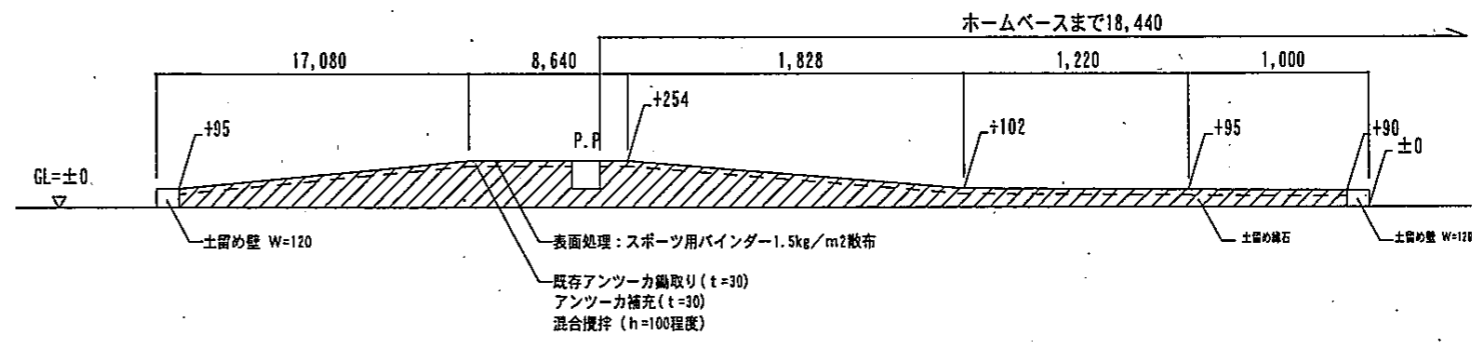


内野部保護材取付平面図 S=1/200

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	図障平面図、詳細図	縮尺	H 21 年 10 月
	富山市建設部営繕課		No. 07



屋内練習場・ブルベン改修平面図 S=1/200



マウンド標準断面図 S=1/20

工事名称	富山市民球場人工芝張替工事・衝撃緩衝材取替工事		
図面名	屋内練習場、ブルベン詳細図	縮尺	H 21 年 10 月
富山市建設部営繕課			No. 08

符号	名 称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	富山市民球場人工芝張替及び衝撃緩衝材取替工事						
	総括表						
I	直接工事費						
A	建築工事		1.0	式			
	直接工事費 計 (A)						
II	共通費						
A	共通仮設費・安全管理費		1.0	式			
B	現場管理費		1.0	式			
C	一般管理費	契約履行保証費を含む	1.0	式			
	共通費 計 (A+B+C)						
	工事費合計 (I+II)						
	消費税相当額 (5%)						
	工事費総合計						

符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	共通費						
A	共通仮設費						
	準備費						
	敷地測量、予備調査、敷地整理、仮設通路の整備及び復旧に要する費用						
	仮設物費						
	仮囲い、現場事務所、倉庫、作業所、設置に要する費用						
	安全費						
	安全標識、消火設備等の施設の設置及び安全管理、合図等の要員に要する費用						
	動力用水光熱費						
	工事用電気設備及び工事用給排水設備の設置に要する費用並びに電気・水道料金等						
	試験調査費						
	施設の機能試験、材料及び製品試験等の試験又は調査に要する費用						
	整理清掃費						
	場内跡片付、発生材処分等の整理清掃に要する費用						
	機械器具費						
	共通的な工事用機械器具の設置に要する費用及びその運転経費		1.0	式			
	運搬費						
	工事現場内の揚重機械器具等の運搬に要する費用						
	小計						

符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	現場管理費						
	現場管理費	工事実績情報の登録に要する費用を含む	1.0	式			
	小計						
C	一般管理費						
	一般管理費	契約履行保証費を含む	1.0	式			
	小計						
	共通費 計 (A+B+C)						
	工事費 合計 (I+II)						



符号	名 称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
■	富山市民球場人工芝張替及び衝撃緩衝材取替工事						
	直接工事費						
1	人工芝張替工事		1.0	式			
2	衝撃緩衝材取替工事		1.0	式			
	直接工事費 計						



符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.1	撤去工事						
a	グラウンド部						
	既存人工芝撤去	5kg/m <sup>2</sup>	13,455.0	m <sup>2</sup>			
	運搬	13455*0.03*1.3	525.0	m <sup>3</sup>			
	運搬(再利用)	2417(m <sup>2</sup> )*0.03*1.3	94.2	m <sup>3</sup>			
	処分	13455*5(kg)	67.3	t			
	処分(再利用)	2417*5	12.0	t			
b	ブルペン部						
	既存人工芝撤去	5kg/m <sup>2</sup>	204.0	m <sup>2</sup>			
	運搬	204*0.03*1.3	7.9	m <sup>3</sup>			
	処分	204*5(kg)	1.0	t			
c	室内練習場						
	既存人工芝撤去(砂入人工芝)	5kg/m <sup>2</sup>	858.0	m <sup>2</sup>			
	運搬	858*0.02*1.3	22.3	m <sup>3</sup>			
	運搬(再利用)	9(m <sup>2</sup> )*0.02*1.3	0.2	m <sup>3</sup>			
	処分	858*5(kg)	4.3	t			
	処分(再利用)	9*5	45.0	kg			
	小計						

符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.2	路面工事						
a	グラウンド部						
	人工芝敷設	ロングパイル人工芝 t=60程度	13,455.0	m <sup>2</sup>			
	文字	TOYAMA	6.0	文字			
	アンツーカ舗装	アンツーカ上部入替 スポーツ用バインタ	23.6	m <sup>2</sup>			
	マウンド部	"	50.3	m <sup>2</sup>			
	ホームベース部	"	102.0	m <sup>2</sup>			
b	ブルベン部						
	人工芝敷設	ロングパイル人工芝 t=60程度	204.0	m <sup>2</sup>			
	アンツーカ舗装	アンツーカ上部入替 スポーツ用バインタ	57.2	m <sup>2</sup>			
c	室内練習場						
	人工芝敷設	ロングパイル人工芝 t=60程度	858.0	m <sup>2</sup>			
	アンツーカ舗装	アンツーカ上部入替 スポーツ用バインタ	35.8	m <sup>2</sup>			
	小計						

符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.3	附帯施設工事						
	ピッチャプレート撤去・再設置		7.0	箇所			
	ホームベース撤去・再設置		1.0	箇所			
	塁ベース金具撤去・再設置		1.0	組			
	ポイントマーク	φ25 ウレタン成型品	13.0	箇所			
	外野側溝ラバー蓋新設	U-240用 L=600mm/枚 全長200m	334.0	枚			
	既存外野側溝ラバー蓋撤去		334.0	枚			
	嵩上げ用ゴム板	W30*L1,000*t 20 蓋両側	400.0	m			
	運搬		334.0	枚			
	処分	7kg/枚	2.3	t			
	既設外周側溝清掃		420.0	m			
	排水性能回復工事		13,455.0	m <sup>2</sup>			
	小計						

符号	名 称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衝撃緩衝材取替工事						
2.1	内外野壁部		1.0	式			
2.2	フェンス部等緩衝材		1.0	式			
	小計						

符号	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	内外野壁部						
	防護マット撤去	3.6kg/m <sup>2</sup>	701.0	m <sup>2</sup>			
	運搬	701*0.05*1.3	45.6	m <sup>3</sup>			
	処分		2.5	t			
	衝撃緩衝材新設	ソフトタイプ	701.0	m <sup>2</sup>			
	小計						
2.2	フェンス部等緩衝材						
a	ブルベン部						
	緩衝材新設	t=20	263.0	m			
b	カメラマン席部						
	手摺部緩衝材新設	t=20	44.8	m			
	フェンス下部保護材新設	t=15	19.6	m			

符号	名 称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	ダッグアウト及びキーパー席						
	手摺部緩衝材新設	t=20	56.8	m			
	キーパー席フェンス緩衝材	t=20	27.8	m			
	フェンス下部保護材新設	t=15	43.2	m			
	階段保護材新設	t=15	30.0	段			
d	バックネット						
	枠部緩衝材取替	t=20	94.0	m			
e	緩衝材、保護材撤去処分						
	撤去	0.25kg/m <sup>2</sup>	549.0	m			
	運搬		549.0	m			
	処分		137.0	kg			
	小計						